

2018 年度 デジタル・ビジネス研究

第 4 回研究会

開催日： 2018 年 12 月 3 日

テーマ： 深圳でのイノベーション速度を生み支えるエコシステムの理解

講師： 高須 正和 氏 (株式会社スイッチサイエンス Global Business Development)

議事概要：

- ・ 深圳は、従来は「コピーする側」だった。しかし、コピーの積み重ねがイノベーションの創造につながった。今では「コピーされる側」、すなわち世界を争うクラスの R&D 企業が多く出現するようになってきた。このふたつのことは実は密接に繋がっている。このエコシステムは世界の莫大な投資と市場で偶発的に生まれたものだと考えられる。
- ・ イノベーションの形が「プラン主導」(企画があり予算確保から始まる) から「プロトタイプ主導」(プロトタイプ先行でヒットすれば予算は後からついてくる) に変わったともいえる。この新しいイノベーションは、現時点では市場には存在しない、合理性では GO が判断できないものを、小さく始めてスケールさせるという流れを持っている。
- ・ そして重要なのは、急発展・大変化を実現した「スピード」(深圳速度) である。